

エネルギー回収施設における放射能の測定結果について (平成29年度)

エネルギー回収施設(立谷川)の放射能測定の結果

- 焼却灰の放射性セシウム濃度は埋立基準より低い数値結果です。
- 敷地境界の空間放射線量は、山形県が使用している換算式により年間放射線量に換算すると、国際放射線防護委員会が勧告した自然放射線や医療による放射線を除いた一般人の通常時被ばく基準値の年間1mSvを下回りますので、ご安心ください。

【測定結果】

1. 「焼却灰」等中の放射性セシウム濃度^{※1} (単位：ベクレル／kg)

施設名 (所在地)	試料 採取日	焼却灰の種類	国が定めた 埋立基準
		飛灰 ^{※2}	
エネルギー回収施設 (立谷川) (山形市大字漆山)	H29. 11. 7	160	8,000 以下 ※3
	H30. 2. 2	26	

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器

- ※1 放射性セシウム濃度は、放射性セシウム134と放射性セシウム137の合計
 ※2 飛灰とは、排ガスに含まれているダスト(ばいじん)を集塵器で集めたもの
 ※3 8,000 ベクレル/kgを超えた焼却灰は、指定廃棄物として国が処理を行います。

2. 敷地境界の空間放射線量 (単位：マイクロシーベルト／時間)

施設名 (所在地)	測定日	測定場所			
		東側	西側	南側	北側
エネルギー回収施設 (立谷川) (山形市大字漆山) H29. 10. 1 開始	H29. 10. 27	0.07	0.05	0.07	0.06
	H29. 11. 16	0.06	0.07	0.08	0.06
	H29. 12. 21	0.07	0.07	0.07	0.07
	H30. 1. 15	0.06	0.04	0.05	0.05
	H30. 2. 16	0.05	0.06	0.07	0.05
	H30. 3. 12	0.05	0.07	0.06	0.06

測定高さ：地上1m